

● 中神小ハッピークラブの子どもたちと、地域の大人との交流会

市内の各小学校で子どもたちが放課後を安全に過ごせるよう放課後子ども教室(昭島市主催)が開催されています。中神小では「ハッピークラブ」という名称で開設され、登録すれば1年生から6年生まで開設時間内に誰でも好きな時に参加できる教室です。このハッピークラブの子どもたちと、活動支援部会が開催しているサロン「あさひ楽笑」のメンバーとが、6月29日(金)の放課後に風車づくりと昔遊びで交流しました。この交流会は、これまでも年2～3回行い今回で第6回目を数えます。



▲風車をつくろう

当日は、関東地方に梅雨明け宣言が発表されたほどの猛暑でした。

会場を急ぎよ体育館からハッピークラブの部屋に変更して行いました。昔遊びの道具としてコマ・お手玉・おはじき・竹とんぼを廊下などに設置して自由に遊べるようにしたうえで、まずは風車づくりから始めました。

サロンのメンバーによる風車の作り方の説明を聞いて、創作開始です。カラフルな折り紙の四隅から中央に向かって半分ほど切れ込みを入れ、それぞれの片方を中央で結んで風車の形を作ります。それを楊枝とストローの切れ端を使って固定すれば出来上がりです。子どもたちは指先に神経を集中させて、一心に風車づくりに挑戦していました。

昔遊びでは、コマと竹とんぼに人気があったようです。コマを上手に回す子、巻き方に苦戦している子、ひもを使わずに手で回す子、ときまぎまですが、みんな楽しそうに遊んでいました。竹とんぼは外に出て、空に向かって飛ばしました。初めのうちはなかなかうまく飛ばせませんでしたが、空中で勢いよく回転し出すと歓声を上げていました。子どもたちの参加は50名ほど。大人は6名で楽しく交流しました。

(活動支援部会 / 部長 北村 実)



▲竹とんぼを飛ばそう

● 中神青年の会主催 納涼盆踊り大会

中神青年の会(中野陽介会長)主催の「納涼盆踊り大会」が、7月14日(土)15日(日)、中神熊野神社境内で開催された。毎年、梅雨の時期にあたり、開催が危ぶまれていたが、今年の盆踊りは、雨の心配なしの納涼盆踊り大会となった。夕刻になると、第5・6ブロック地区に住む人達が、家族連れで、会場の中神熊野神社の境内に集まる。



▲夕刻時、踊りの輪が広がっていく

夜店コーナーも魅力のひとつ。焼き鳥、焼きそば、だんご、かき氷、綿あめ、生ビールなど、行列のできる店が沢山できた。市民会議の会員は、駐輪場の誘導・整理、場内外の警備などで大活躍。

地域の交流、歓談の場で感謝されていた。

(取材・写真 / 広報部会)



▲夜店コーナー也大繁盛